

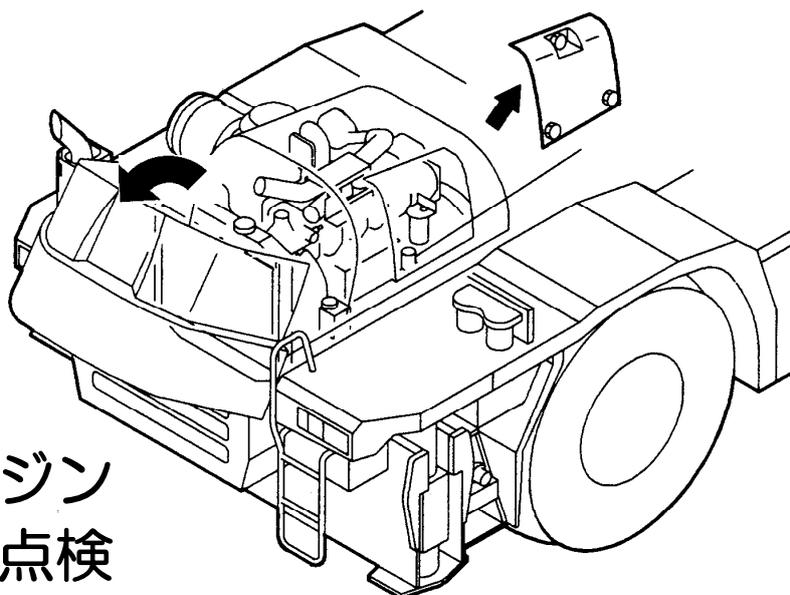
## 長期間使用したラフター、オルターのエンジン周り自主点検強化のお勧め

長期間使用した機械に関してホース、配線類の経年劣化などについては、つい見逃しがちになってしまいます。特にエンジンルーム内は熱の影響を受ける所でもあります。

そこで末永くご愛用頂くために、特に7～8年以上経過した機械に関しては、これら部品について目視にて点検し劣化の度合いの激しい部品については早めの交換をお勧めします。

激しい劣化を放置して継続使用した場合、思わぬ故障（油漏れ、燃料漏れ、排気漏れ、短絡等）や、至っては火災を引き起こす可能性もあります。古い車輛についてはエンジンフードやトルコンカバーを開けるなどして普段目に触れない部位にも気を配り点検される事をお勧めします。

また、車検、クレーン検査などの際に併せて点検整備するよう、弊社指定サービス工場にお申し付け頂く事もお勧めします。



### エンジン 周り点検

\*エンジンフード、点検カバーを開けて出来るだけ中全体が見易い状態にして点検してください。

主たる点検箇所：

- ・エンジン関係 排気漏れ。エンジンオイル漏れ。燃料ラインのホース、パイプの劣化、接手の緩み  
燃料漏れ。電装品及び配線の損傷、清掃。防音材の汚れ、劣化状況。
- ・その他 ルコン、油圧ポンプ廻りの油圧ホースの劣化、損傷、油漏れ、接手類の緩み。  
バッテリー配線の取り付け状態。エンジン周辺の塵埃等の清掃状況。

\*点検整備は最寄の弊社指定サービス工場にお申し付けください。